

昨年度までの検証結果及びR6年度の方針

インフラ整備（技術の検証）

社会受容性の向上

**信号協調システム**

- 36箇所のうち15箇所を整備(R6.2)

自動運転割合が5%増  
(中心部ルート)

**路車協調システム**

- 岐阜市役所前交差点を整備(R6.2)

信号交差点の完全自動右折実現

- 自動運転に触れる機会の創出
  - 継続運行の開始、イベントにおける体験乗車等
- 認知度向上に向けた取り組み
  - 継続した周知・啓発活動

自動運転に対する印象・評価が向上

- 「自動運転技術への信頼性」 8%増  
(乗車前後の比較)
- 「車両の走行に対する許容度」 16%増  
(昨年度との比較)

※乗客・沿線住民アンケート調査結果(集計:R5.11.25~R6.1.21 N=494)

✓ 昨年度までの検証結果

▶▶ レベル4自動運転実現に向けた技術の有効性を確認

✓ 昨年度までの検証結果

▶▶ 認知度向上等による社会受容性の向上を確認

**R6方針**

- 残る信号交差点21箇所信号協調システムを整備 (R6.5完了)
- 路車協調システムを整備が必要な2箇所を整備 (小熊町2・長良橋通り合流部)
- 円滑な運用に向けたバス停の整備等 (御鯨街道バス停)

**R6方針**

- ルート沿線住民の理解を促進
- 乗車機会創出のための各種取り組み
- 駐停車禁止への協力を求める啓発等



令和6年度の取り組み

インフラ整備（技術の検証）

社会受容性の向上

**R6年度の取り組み**

- 走行ルート上の信号交差点全36箇所における信号協調システムの整備完了 (R6.5完了)
- 必要箇所における路車協調システムの整備
  - 信号交差点の右折 (小熊町2)
  - 交通量の多い幹線道路への流入 (長良橋南側合流部)
- 御鯨街道におけるバス停の整備
  - 後方車の安全な追い越し等のため、停留所を整備

歩道を切り下げ幅員を確保

**R6年度の取り組み**

- 沿線住民等を対象とした試乗会
  - ルート沿線住民のご理解を促すため、試乗会を実施 (金華地区: R6.6実施、京町地区: R6.8実施予定)
- 学校モビリティマネジメント
  - 市内の全小学校を対象に体験乗車を実施 (岐阜小学校: R6.3実施、本荘小学校・市橋小学校: R6.5実施)
- イベント等における乗車体験
  - 岐阜市科学館 de 公共交通フェア (4/27-5/6開催)
  - 公共交通フェスタ (R6.11開催予定)
- 認知度向上と利用機会創出
  - プロ野球スポンサーゲームにおけるPR (7/14開催)
  - 乗車促進企画
    - ~GIFU HEART BUSと初めての夏休み~
    - ▶ 関連グッズを配布、口コミによる認知度向上を図る

来館者は昨年度GW比約1.8倍

8/1-8/31開催中

大型スクリーンでのPR (バンテリンドームナゴヤ)

イベントの様子 (岐阜市科学館)

取り組み方針

5年間の継続運行で技術の検証を進めるとともに社会受容性の向上を図り、レベル4自動運転を目指す

▼ 5年間の継続運行

**インフラ整備（技術の検証）**

- 走行環境の整備: 信号協調・路車協調システムなど環境整備
- 技術開発: 路上駐車回避など車両の技術開発・高度化

**社会受容性の更なる向上**

- 理解の向上と意識の醸成: 5年間の継続運行による地域関係者の理解と協力
- 自動運転バスの認知度の向上: 広報の実施・啓発看板等の設置による市民の理解と協力

**ビジネスモデルの構築**

- 運行・運営体制の構築: 今後、持続可能な公共交通とするため、自動運転を様々な地域へ広く展開するための運行体制の構築

課題抽出

対応策の検討

路上駐車抑制車両の開発高度化など様々な課題解決が必要

**レベル4自動運転の実現**

公共交通への自動運転技術の導入

段階的なインフラ整備と社会受容性の更なる向上に取り組み、5年の間にレベル4実現を目指す